

令和4年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

令和5年3月

放課後等デイサービス 大洋

職員7名実施

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------------------|--|--|----|---------------|---|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 7 | | | ・訓練指導室は22帖と5帖のスペースが有り、設備基準は満たされている。 ・スペース自体は広くないため、日によっては屋内と屋外を織り交ぜながら活動を組み立てており、週に2日は体育館を利用している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 7 | | | ・令和4年度は平日5~7名、土曜は4~5名のスタッフ配置としている。 ・次年度も同配置となる見込み。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 4 | 3 | ・玄関や建物内には階段や段差があるため配慮が出来ていない。今後のニーズによっては改善等を行っていきたい。(階段に手すり等は有り) |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 7 | | | ・打合せは土曜以外毎朝行っている。児童の支援については勿論のこと、業務改善が必要な部分を共有し、対策等について話し合っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 3 | | ・令和4年度分のアンケート調査をスタッフで情報共有している。評価されていない部分は改善していけるように共有し、評価されている内容は自信に繋げている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報等で公開しているか | 5 | 2 | | ・集計後、利用家庭及び各学校、相談支援事業所へ配布する。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 5 | 1 | ・第三者評価機関は設置していない。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 4 | | ・虐待防止研修の実施と研修システムの活用、障がい特性等の研修に取り組んでいるが、充実してはいなかった。反省を次年度にいかしていく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 2 | 1 | ・ご家庭のニーズを汲み取り、スタッフ間で利用児童の実態を話し合いながら支援計画を作り上げている。児童のニーズを汲み取る部分は欠けているため、聞き取りをしていく。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | 2 | 5 | ・今年度については、アセスメント資料の作成が失念していたため、次年度は作成に務めていき、支援向上に繋げていく。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 7 | | | ・各スタッフで担当を決めて立案し、会議等で確認し合っている。 |
| | 12 | 子どもたちの自立を促すようなプログラムが設定されているか | 7 | | | ・各活動を行うにあたって、目的や手順を共有しており、目的を意識しながら支援に繋げるようにしている。 |
| | 13 | 平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 5 | | ・放課後についてはきめ細かに設定している。ただし、長期休暇などにおいてはそこまでの細やかさが無い。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 4 | | ・生活面と活動面、学習面の3項目をメインに個別支援計画を作成している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 7 | | | ・毎日打合せを実施し、当日の活動とその目的、配慮すべき点、児童や職員の役割等を共有している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | 1 | | ・支援終了後ではなく、翌日午前中に振り返りを設けている。児童の様子について共有し、支援の方向性を確認して共有する。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | 1 | | ・毎日支援の記録を行っている。 ・現在は個別支援計画に基づいた記録を心掛けている。 |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 7 | | | ・職員間で定期的な支援計画の取り組みをモニタリングし、達成状況や他の課題等について話し合い、ご家族のニーズとも絡め合わせながら進めている。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 6 | 1 | | ・ガイドラインの基本活動に掲げられている複数の内容を実施している。 ・大洋では特に運動と学びに繋がる活動、余暇に重点を置いているが、地域交流については機会が少なかったため、次年度強化していく。 |
| 関係機関 や保護者 との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | 1 | | ・児童発達支援管理責任者が参画している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 7 | | | ・お便りを定期的に配布している。下校時間については、各児童の時間割をコピーして把握している。時には学校との連携が必要なケースもあるため双方の対応等について共有した。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 4 | 3 | ・医療的ケア児の受け入れは行っていない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | 5 | 2 | ・次年度は新一年生を迎え入れるため、情報共有に努めたい。 |

| | | | | | | |
|--------------|-------------------------------------|---|---|---|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 4 | 3 | ・該当児童は居ない。 | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | 2 | 4 | ・実施していない。職員の資質向上のため検討していきたい。 |
| | 26 | 体験型の活動や他施設と交流する機会はあるか | 3 | 3 | 1 | ・同法人のデイサービスとスポーツ活動を通して交流している。 ・地域での制作体験等についてはコロナの感染状況によって参加していた。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | 2 | 5 | ・参加していない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を図られているか | 4 | 3 | | ・保護者様に対して児童の状況等を上手に伝えていくとともに、児童の様子が伝わりやすい新たな連絡ツールも検討していく。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 2 | 5 | ・ペアレントトレーニングについて、学ぶ機会を設けていく。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | 3 | | ・運営規定については利用契約書及び重要事項説明書にて説明を行っている。支援内容等については、これまで以上に上手にお伝えしていきたい。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | 2 | | ・相談依頼があれば親身に受け答えさせて頂いている。ペアレントトレーニングで学びを得たいと考えている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 1 | 6 | ・各会は設けていないが、必要性についてお聞きしたいと考える。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 1 | | ・苦情があった場合は、マニュアル通りに対応させてもらっている。打合せにて周知するとともに改善策を協議。その旨を苦情があった相手先へご報告し、広報でお知らせする形を取っている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 7 | | | ・毎月文書のお便りをはじめ、写真付きのお便りも発行・配布している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 7 | | | ・メモの持ち帰り、USBメモリ等の使用にも注意している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | 1 | | ・その子の特性に合わせた意思疎通を心掛け、納得がいくよう対応している。保護者には対応内容等についてご報告させてもらっている。 |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 3 | 4 | ・町内会には参加しているが、開かれた事業所にはなっていない。地域参加について次年度検討していく。 | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 2 | 4 | 1 | ・各種マニュアルは有るものの、保護者への周知は不十分であった。避難訓練時に併せてマニュアルの公開等をしていきたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | 1 | | ・年に4回、避難訓練を実施している。昨年度は訓練実施については周知していなかったため、今年度は広報に載せてお知らせした。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | 2 | | ・研修は実施しているが、質の高い研修を心がけていく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 3 | | ・対象となる児童には個別支援計画に記載させていただいている。身体拘束が必要とならない環境づくりについても話合っている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 4 | | ・児童調査票にアレルギーの有無を記入して頂いている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 2 | 5 | | ・今年度分は未実施のため、早急を実施する。 |